

そうは  
いても...

## 家族みんなの思いを大切にするために

日々の生活では、いろいろな出来事があり、引き起こされる気持ちもさまざまです。そんな時は、おとなも今の気持ちを正直に伝えるために、こどもに声をかけてみるのも良いかもしれません。

お母さんと  
遊ぼうよ



最近パパ  
お仕事が大変で、  
すぐつかれちゃった...  
あんまり元気ないけど、  
心配しないでね。  
ひとやすみしたら、  
たぶん元気になるから

お父さんの  
お手伝い  
してくれる?



今日ママ  
こんなことがあって、  
こんな気持ちに  
なっちゃった...。  
いつもみたいに  
ニコニコできないけど、  
あなたのせいじゃ  
ないからね

おとなどうして、今の状況を共有して、お互いフォローし合えると、家族の安心感が増しますね。

世代が違う、育った環境や、ライフスタイルが違うなど、こどもを取り巻くおとなの事情はさまざまです。少しずつつゆずり合い、お互いを大切にする心をみんなではぐくみましょう。

一人で抱えず、相談してください！

港北区こども家庭相談

月曜日～金曜日 8:45～17:00 ☎045-540-2388

よこはま子ども虐待ホットライン

24時間365日受付 ☎0120-805-240 (はまっこ24時間)

かながわ  
子ども家庭110番  
相談LINE



令和7年3月発行 港北区役所こども家庭支援課

おとなもこどもも みんなあんしん

## 子育てパートナーシップ



家族で毎日暮らしていると...

それぞれの思いがすれちがったり、ぶつかりあったり、

平和な日ばかりではありませんね。

おとなが感情をぶつけ合う場面をこどもに見せることは、

時に有害なことがあります。

毎日の暮らしの中で、こどもを守るための工夫、

みんなが気持ち良く暮らせるためのゆずりあいなどについて、

一緒に考えてみませんか

# 家族の中で あたたかいコミュニケーション ～こどもは身近な大人をモデルに学ぶ～



こどもにとって、おとなの関わりはとても大切です。こどもは、おとなをモデルとして、さまざまなことを学びます。おとなが暴力や暴言を使えば、こどももそうして良いと思うようになります。結果として、対人関係においてトラブルを抱えるようになったり、孤立してしまったりするおそれがあります。



おとなどうしの対立やもめ事を見せることは、こどもにとって大きな負担になります。愚痴をいう相手はこどもではなく、おとなにしましょう。



反対に、おとなどうし、良いところを認め合ったり、感謝し合うようなコミュニケーションは、とても大切です。

そのようなコミュニケーションを取り込むことで、こどもの対人関係もよりスムーズになることが期待できます。



勉強が大事。  
しっかり  
勉強なさい

わたしは  
どうしたら  
よいのだろう...

勉強しないで、  
早く寝なさい



おとなの指示が矛盾していると、こどもが混乱してしまうので、こどもに関わる時は、できるだけ大人の方針は合致させましょう。

家族の中では、できるだけ対等なパートナーシップを心がけましょう。誰かの意見ばかり通る、誰かがいつもがまんする、ということは望ましくありません。いろいろな意見を出し合って、みんなにとって、よりよい結論に至るような機会を持ちましょう。